

西之表市 議会だより 100

平成27年8月25日発行



昭和36年



昭和48年



昭和55年



昭和56年



昭和60年



平成元年



平成5年



平成9年



平成13年



平成17年



平成21年



平成25年

▲100号記念のため、歴代議会の写真を掲載しています(年号は撮影時)

☆紙面紹介☆

- P 2・・・平成27年度一般会計補正予算など議案27件を可決・同意
- P 3～4・委員会審査報告
- P 5～7・一般質問：10名の議員が市政について質問しました
- P 8～10・第3回議会報告会を開催しました
- P 10～11・6月議会議決結果一覧
- P 12・・・次回定例会予定等

平成27年度一般会計補正予算など
議案27件を可決・同意

平成27年第2回定例会において、一般会計補正予算（第1号）など予算関係6件を含む議案27件が提案され、それぞれ原案どおり可決・同意された。

請願・陳情は継続1件、新規3件の合計4件で、そのうち採択1件、継続審査3件となった。

平成27年度一般会計
補正予算（第1号）

歳入歳出の総額に1億7,476万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ105億5,576万6千円とするもの。

歳出予算の主なもの
一部は以下の通り。(数字は補正額)

西之表市公平委員会
委員の選任について

現在委員の橋口勝一氏が平成27年9月15日をもって任期満了となるため、同氏を再任しようとするもので、原案に同意した。

農林水産業費 279万7千円

◎鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業 1,608万円…有害鳥獣の捕獲対策（シカ2,000頭、カラス300羽、ヒヨドリ100羽）

民生費 1 億9.022万1千円

◎かもめ児童館擁壁等設置事業
452万3千円・・・かもめ児童館において、子どもたちの安全性を確保するため擁壁を設置するもの。

衛生費 1.498万8千円

◎汚泥再生処理センター新施設の運転管理業務委託料 1,167万5千円・・・平成27年10月から平成28年3月までの人件費、消耗品費、簡易修繕・水質分析管理等の費用。

災害復旧費 500万円

◎公共土木施設災害復旧工事 ５００万円・・・
５月１４日から１５日にかけての降雨により
崩壊した現和之下町石堂線の災害復旧経費。

商工費 189万5千円

◎観光ガイドブック制作負担金 100万円
 …観光ガイドブックで有名な「地球の歩き方」の種子島版制作負担金。観光協会と1市2町共同で制作費の一部を負担するもの。

特別委員会の構成が変わりました

平成 27 年第 2 回定例会において、馬毛島対策特別委員会及び航路改善港湾整備特別委員会の委員構成の変更がなされた。馬毛島対策特別委員会委員は、以下の通り。航路改善港湾整備特別委員会委員長に田添辰郎議員、副委員長に渡辺道大議員が選任された。同じく構成委員は以下の通り。



航路改善港灣整備特別	委員會	委員長	副委員長	委員	〃	〃	〃	〃	〃
	田添	渡辺	木原	鮫島	小倉	中原	川村	榎元	
	辰郎	道大	幸四	市壽	伸一	勇	孝則	一巳	

												委員 長	副委員 長	委 員	馬毛島 対策特別 委員会
丸田健次	渡辺道大	橋口美幸	榎元一巳	川村孝則	中原勇	田添辰郎	瀬下満義	小倉初男	濱上幸十	鯨島市霊	木原幸四	長野広美	小倉伸一		

委員会審査報告

議案は、常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑・討論を経て採決されます。その主な内容をご報告します。(名称等は一部簡略化しています。)

総務文教委員会

【構成委員】

委員長 小倉 初男

副委員長 渡辺 道大

委員 濱上 幸十

〃 小倉 伸一

〃 川村 孝則

〃 長野 広美

〃 丸田 健次

〃 永田 章

条例

▼個人情報保護条例の一部改正

「マイナンバー法」の施行に伴い、「特定個人情報」〔情報提供等記録〕等の取扱いについて定めるための一部改正。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤である。

マイナンバー制度について

平成27年10月から一人一人に通知される。平成28年1月から社会保障・税・災害対策の行政手続きでマイナンバーが必要となり、この場合を除き、むやみに他人に提供することはできない。

行政に申請すると、個人番号カードが交付される。電子証明書が標準搭載され、図書館利用や印鑑登録証など、自治体が条例で定めるサービスにも利用できる。

カードには機微な個人情報（住所、個人番号などのほか、電子証明書など）に限られ、所得などの情報は記録されない。

情報の漏えいについては、万全の体制で取り組んでいくべきだが、制度については、行政の効率化を図るうえでも重要である。

予算

平成27年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出の総額を105億5,576万6千円とするもの。

■地方債補正

辺地対策事業と緊急防災・減災事業の変更2件。

■歳入

○国庫負担金

○県負担金
低所得者保険料軽減負担金の増額など。

○県補助金

農林水産事業費等が増額。

○雑入

コミュニティ助成事業等増額。

○市債

かもめ児童館擁壁等設置事業は新規事業として追加し、へき地集会防災機能向上事業は、辺地債を充当したため減額となっている。

財源不足を補うため、財政調整基金、ふるさと応援寄附基金から繰り入れている。

■歳出

○総務管理費

地域振興費の負担金補助及び交付金のコミュニティ助成は、住吉深川地区、また、過疎地域等自立活性化事業は、古田校区への伝統継承、景観整備、加工施設等への補助金である。

○教育総務費

小規模校特認通学生が4人で確定し、現和住吉コースの減による減額。

○小学校費

学校管理費の増額は、

立山小学校の学校管理、清掃業務にかかる経費。また、古田小学校のトイレ水洗化に伴う実施設計費委託費を計上。

○社会教育費

鉄砲館特別展「戦後70年展」開催事業に伴う経費が新規で計上されている。

請願

▼「川内原発再稼働に反対する意見書」の鹿児島県知事への提出を求める請願書

地元議会や県は、川内原発再稼働同意の結論を出したが、避難経路の確保や安全対策の説明など国や県、地元自治体の対応を見極め、判断した方が良く、「継続審査」となっていた。

「8月中の再稼働の動きに対し西之表市議会の意見を定めるべき。」「避難計画や安全対策について住民が納得したというような話は聞いていない。そのことも踏まえて結論を出すべき。」との意見があり、避難経路の確保や安全対策の説明など国や県、地元自治体の対応を見

極め、判断すべきとの意見が多く、賛成多数で継続審査と決した。

▼教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の請願について

趣旨として、子どもたちの教育環境改善のため、計画的な職員定数を推進すること。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。離島、山間部の多い鹿児島県において、教育の機会均等を保障するため、国の学級編制基準を引き下げてほしいとし、政府関係機関への意見書提出を求めるもの。

「義務教育であれば、義務教育費の保障は国がすべき。」「学級の数で、教員の数が決まることから、国の学級編制基準を引き下げるべき。」また、「この請願書は子どもの視点から出されていない。」との意見もあったが、賛成多数で採択と決した。(次項に意見書)

意見書の提出

次の意見書について西之表市議会より関係省庁へ提出しました。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、
2016 年度政府予算に係る意見書

日本は、OECD 諸国に比べて、1 学級当たりの児童生徒数や教員 1 人当たりの児童生徒数が多くなっている。しかしながら、第 7 次教職員定数改善計画の完成後 9 年もの間、国による改善計画のない状況が続いている。自治体が見通しをもって安定的に教職員を配置するためには、国民階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要である。一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善が不可欠である。また、新しい学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加している。日本語指導などを必要とする子どもたちや障害のある子どもたちへの対応、いじめ・不登校などの課題もある。離島・山間部の多い鹿児島県においては、2 学年の子どもの一つの教室で学ばず複式学級が多く、単式学級で学ぶ子どもたちと比較したとき、憲法が要請する教育の機会均等が保障されているとは言えない。子どもの教育の機会均等と学びの保障の観点から、複式学級の解消は極めて重要な課題である。

いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善にむけ財源保障をすべきである。

三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合が 2 分の 1 から 3 分の 1 に引き下げられ、その結果、自治体財政が圧迫され非正規教職員も増えている。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのため条件整備が不可欠である。こうした観点から、2016 年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を 2 分の 1 に復元すること。
- 3 離島・山間部の多い鹿児島県において、教育の機会均等を保障するため、国の学級編制基準を引き下げる。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 27 年 7 月 1 日

鹿児島県西之表市議会



産業厚生委員会

【構成委員】

委員長 鮫島 市憲
副委員長 中原 勇
委員 木原 幸四
下川 和博
瀬下 満義
田添 辰郎
榎元 一巳
橋口 美幸

条例

▼手数料条例の一部を改正する条例
「鳥獣の保護及び狩猟

の適正化に関する法律」が「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に名称が改められたことに伴う改正。

市道路線の認定

県道国上安納線道路の旧道として存置している開中之田代線他 3 線を市道として認定。

予算

平成 27 年度一般会計
補正予算(第 1 号)

○民生費

国民健康保険特別会
計へ 1 億 9,848 万
円を繰出。

低所得者保険料 2,
049 人分 696 万円
を軽減。

かもめ児童館擁壁等
設置工事を計上。

○衛生費

汚泥再処理センター
の運転管理業務を民間
へ委託するための費用
を計上。

○農業費

新規に鳥獣被害防止
緊急捕獲活動支援事業
を計上。

さとうきび株出し管
理作業、作地力増進対
策、経営緊急支援資金利
子助成金を計上。

○林業費

有害鳥獣駆除への報
奨金を計上。

○水産業費

離島漁業再生支援の
交付金を計上。

○商工費

「地球の歩き方」の種
子島版、初版 6,000
部の製作負担金を計上。

○災害復旧費

降雨により斜面が崩
壊した現和下之町石堂
線の災害復旧費を計上。

■要望

①シカの捕獲目標 2,
000 頭の達成に向け、
更なる予算措置及び猟
友会等との連携強化に
よる体制整備に努める
こと。

②さとうきびの不作に
より農家は厳しい経営
を強いられていること
から、耕作面積の維持、
農家の生産意欲を低下
させない施策の充実を
図ること。

③現和下之町石堂線は
スクールバス路線でも
あることから、路線の新

設・改良等早急な対応に
努めること。

平成 27 年度特別会計
補正予算(第 1 号)

▼簡易水道

国民健康保険

国保世帯の所得、特

に農業所得が大幅に低
下したことや課税限度
額が引き上げられるこ
と等から、やむを得
ず、今年度は税制改革
は行わず、一般会計か
らの法定外繰入 1 億 8,
500 万円に対応。

▼介護保険

後期高齢者医療保険

水道事業

請願

▼年金積立金の専ら被
保険者の利益のための
安全かつ確実な運用に
関する意見書(決議)の
採択を求める請願書

年金積立金は厚生年
金保険法等の規定によ
り、専ら被保険者の利
益のために安全かつ確
実な運用を堅持すべき
であり、リスク性資産
割合を高め、年金積立
金が毀損した場合、被
保険者が害を被ること
になることから、意見
書の採択を求めるもの。

政府の景気浮揚を図

る観点から国内債券の
比率を引き下げ国内株
式の比率を引き上げる
施策も一考と捉えられ、
市場相場の動向を推察
しながらの判断も重要
であるとの意見が多く、
賛成多数で継続審査と
なった。

▼種子島、屋久島を
「火山活動周辺地域防災
営農対策事業」の対象地
域に組み入れることを
求める請願書

口永良部島新岳の噴
火による降灰が屋久島
だけでなく種子島にも
及ぶことが心配され、噴
火が長引き降灰による
被害が懸念されること
から、種子島、屋久島を
「火山活動周辺地域防災
営農対策事業」の対象地
域に組み入れること、両島
に降灰観測地点を設置
することを求めるもの。

趣旨を重く受け止め
るものの、他の各農業団
体等の見解も不可欠で
あり、各農業団体・振興
会の意見・情報も集約し
た上において決すること
が妥当であるとの意見
が多く、賛成多数で継
続審査となった。

なお、各農業団体・振
興会の意見聴取は早々
に実施すべきとの意見
で一致した。

一般質問

平成27年第2回定例会では10名の議員が一般質問をしました。以下に要旨を掲載します。

中原 勇 議員

◎FCLPについて



問 FCLPの訓練の目的は空母艦載機のパイロットに対する「タッチ&ゴー」の技能検定であり、米軍の運用によりFCLP以外の訓練を行うことはない、と言えるが如何。

答 日米地位協定により低空飛行訓練が認められており、待機中の位置が決められていないことから、色々な所を飛ぶことが懸念される。(市長)

問 平成23年頃、熊毛民報や西之表民報は、夜間「5機4分間隔」

瀬下 満義 議員
◎国上の湊漁港災害復旧工事について



問 港漁港の防波堤は崩壊するまでに何年かかったのか。崩壊の原因は何だったのか。

答 崩壊の原因は基礎の洗掘で、崩壊するまでに18年かかった。(建設課長)

問 復旧工事は壊れたものと同じものを同じところに造ることになっていて、また壊れるのではないのか。工事費用はいくらか。

答 国には基礎を強化案もしたが採用されなかった。今の堤防も18年間もったので、採択に要する期間も考慮すると今度の方法が最善だと思う。基礎の強化については本市の単独事業も検討したい。工事費用は7億円程度の見込み。(建設課長)

問 私が水産庁の担当課に意見したのは迷惑だったか。

答 水産庁からの問い合わせ等で苦慮したことはあった。(建設課長)

問 行政当局にとって、議員が国や県に意見するのは迷惑か。市長はどう思うか。

答 迷惑ではない。行政としても事前に議員の意見も聞いて、よい事業をして行きたい。(市長)

※その他の質問
「馬毛島問題―軍事基地―」「市長の施政方針に対する質問―残りの質疑に代えて」

丸田 健次 議員
◎自治体監査について



問 補助金、交付金、負担金等、財政援助の内容を持つている限り監査の対象となるようだが、財政援助助

体に対する監査の対象となる団体数を問う。

答 平成26年度決算で交付団体数は約530団体である。(行政経営課長)

問 財政援助団体に対する監査について、法令に沿ってどのように監査しているか。

答 補助金監査は、補助金交付規則及び関係法令等に準拠しているか、補助目的に沿っているかに主眼をおいて、交付申請から確定までの一連の書類並びに預金通帳等の提出を求め、関係職員の説明を受けるなど、監査基準に基づいた手続きにより実施している。

指定管理者監査については、2、3年のサイクルで監査対象を抽出し、協定書に則って適正かつ効果的に業務が履行されているか、所管課の指導監督は適性に行われているか、業務の履行確認は、事業報告書により適切に行われているか、提出された資料を審査し、所管課の説明を求め、実施している。(監査事務局長)

いろいろなご意見をお聞かせください！

99号より右の編集委員会メンバーで「議会だより」を作成しています。市民の皆様、議会をより身近に感じていただけるよう、親しみやすい紙面づくりに心掛けていきたいと思っておりますので、いろいろなご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

左から川村委員、中原委員、渡辺委員、長野委員、木原委員長、田添委員



渡辺 道大 議員
◎大字地域の定住促進について



問 ここ10年間で、毎年2000人の人口減少となっている。情勢の変化や地域環境の整備など大きな課題ではあるが、特に大字地域では対策が急がれ、結果が求められる。大字地域への定住をどう進めていくか。

答 地域の高齢化と人口減少問題は、大字地域への振興に大きく影響しており、重要な課題だと認識している。Uターン者の受け入れと定住できる環境づくりを進める。(地域支援課長)

問 教職員住宅が市営住宅に移管され、住むところが増えた。市街地に比べ、大字は土地の評価額が低い。家賃の設定が低くできれば、若い子育て世帯も住む方が増える

のではない。

答 定住促進住宅として、9月に条例議案を出す。目的が市民の住宅政策ではなく、島外から来た方の定住促進事業ということ、これからの住宅政策を進めていく。(市長)

橋口 美幸 議員
◎地方創生総合戦略、にぎわい創出について



問 地方創生総合戦略とは安倍内閣が打ち出した緊急の経済対策ですが、地方の要望に合った国保、介護の国庫負担の増額や農林漁業への支援こそが求められている。そもそも地方疲弊の要因は、歴代政権の地方切り捨て政策によるものである。本場に市民が願うのは、選挙対策のばら

まきとも取れる小手先の経済対策でなく、社会保障の充実である。結婚し、安心して子育てできる社会の実現である。地方創生事業は、本市の人口減少をくい止める政策、市民の要求となるか疑問であるがどう考えるか。

答 国全体の問題であり、市の人口減少を短期間で解決できる妙案はないが、だからと言って、何もしないのではなく、2020年をピークにその後はピークアウトになる。その間の対策が必要で、人口減少を食い止めることを目指す。また、拠点施設については、2億8,000万円の事業だ。ランニングコストは1,000万円から1,500万円ほどと考えている。(行政経営課長)

拠点施設の目的は、交流人口増、子育て交流の場等である。(市長)

下川 和博 議員
◎あっぱらんどの利活用について



問 あっぱらんどのゲートボール場の雨よけ及び明かり取りについて問う。

答 雨よけについては、屋根方式で出すか、テントのようにするか検討していく。明り取りについても今後検討する。(市長)

問 その他施設の今後の予定について問う。

答 ゲートボール場の周りにスポーツ施設をつくる。遊戯広場の周りにゴーカートなどを移し、子どもから大人まで1日楽しめる場所にしていきたい。(市長)

※その他の質問
「農業対策」「西之表市から種子島市への名称変更」「子育て支援」「どんがタクシー」「市内巡回バス」「馬毛島問題(国が白紙に戻した場合)」について

木原 幸四 議員
◎畜産振興について



問 現在、屋久島、種子島を取り込んだ畜産振興がなされている。今後、他市町村と連携してリーダースhipを取っていただき、畜産業のブランド化を推し進めていく考えはないか。

答 今後1市2町で、種子島は1つという格好で、この和牛農家、酪農農家の育成、特に若い農家の育成にはぜひ努めていきたい。農家の皆さんに安心して畜産業を営んでいただくためには、何と言っても我々がしっかり飼料体系を構築することが必要だと思う。

議長会務報告 (平成27年4月～平成27年6月)	
4月	○関西種子島あかおぎ会 ○市内各小学校、種子島中学校入学式 ○種子島高等学校第10回入学式 ○新任・転入職員宣誓式 ○種子島空港利用促進協議会決算監査 ○米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会決算監査
5月	○鹿児島県政説明会 ○市自衛隊父兄会総会 ○市商工会にぎわい創出プレミアム商品券発行セレモニー ○鹿児島県市議会議長会定期総会 ○市商工会通常総会 ○春季慰霊祭 ○鉄砲まつり振興会総会 ○国民文化祭市実行委員会総会
【次頁へ続く】	

くりを行いたいと思っている。(市長)
※その他の質問
「市民の安心・安全な街づくり」「市民の所得向上」について

濱上 幸十 議員

◎ふるさと納税について等



問 記念品の額が不均衡だが改定する予定はあるか。

答 寄付額の増額が見込めるなら研究したい。(市長)

問 平戸市で開催されるふるさと納税九州サミットに職員を派遣する計画はあるか。

答 職員2名を派遣する計画で進めている。(市長)

◎日米安全保障条約と馬毛島問題について

問 日米安保条約に賛成か、反対かを問う。

答 賛成である。(市長)

問 再編交付金が10年間で250億円交付されることについてどう考えるか。

答 再編交付金については防衛省からは説明を受けていない。(行政経営課長)

問 FCLPの訓練については何回、何日実施か。

答 防衛省からは1回当たり10日以内と説明を受けている。また、23年7月に実績の説明があり、23年は9日間着陸回数2,780回、22年は8日間1,230回、21年は12日間、20年は1日間、19年は3回19日間と聞いている。(行政経営課長)

◎子供の遊具について

問 地元公園に子供の遊具を設置する予定はあるか。

答 市営でない公園には設置できない。(地域支援課総括補佐)

◎長椅子の設置について

問 長椅子の設置について問う。

答 計画に入れていく。市街地の件も進めたい。(市長)

榎元 一巳 議員
◎農業労働力の確保について



問 地方創生総合戦略において、雇用確保に力を入れているが、実際は働き手がないという現状がある。なぜだと考えるか。

答 人口減少や高齢化が一因だと思う。島外から人を呼び寄せて農作業に従事してもらうシステム構築を考えている。(市長)

問 農業労働力確保にかかわること、労働者の身分の保証をすることが重要である。そのため、稼げる農業になること、後継者の意欲向上人を雇用できる体制づくりが必要である。市における取り組み姿勢について問う。

答 他産業との比較、農業雇用の実態把握等をはじめ、長期間就農できる施策、法人以外にも含めた雇用型の

農業経営を施策対象にする必要がある。島外の若者や外国人等も視野に入れた交流推進対策、移住定住施策などの展開ができるよう、各課をはじめ、産・官・学・勤・労の連携を積極的に進める必要があると考える。(農林水産課長)

※その他の質問

「財政運営」「中心拠点施設」「女性の労働環境と人口対策」「馬毛島問題」について

田添 辰郎 議員
◎にぎわいの拠点施設について等



問 西之表港の観光交流施設を2億8,000万円かけて作るというが、目的は何か。

答 宇宙センターなどの通過点ではなく、観光客を集中させる拠点施設。様々な情報提供を行い、地元の物産の販売も行う。同時に住民の憩いの場所になる

よう考えている。(市長)
問 西町・東町の商店街を消滅させると危惧し、反対であるが、どうか。

答 拠点施設から商店街に観光客が流れるような施策を講じるのでその心配はない。(市長)

◎馬毛島について

問 馬毛島の自衛隊・FCLP施設に反対の理由は大きく騒音被害、事故などによる日常生活への不安、基地への経済的依存による弊害、地域づくりへの悪影響であるが根拠があるのか。反対のための反対と考えるがいかがか。

答 FCLPは米軍が行うもので、日米地位協定の問題もあり、可能性は否定できない。(市長)

問 可能性の問題で、確たる証拠はなく、市民に十分説明すべきである。

答 自分たちの地域はそういう地域であってはならない。(市長)

※その他の質問
「田上病院」「ジェットフォイルの料金等」について

【前頁より続く】

○種子島地区防犯協会定期総会

○関東種子島会

○市シルバー人材センター定時総会

○市防犯組合総会

○市交通安全市民運動推進協議会総会

6月

○九州市議会議長会第5回理事会

○九州市議会議長会定期総会

○種子島宇宙開発促進協議会総会

○市生涯学習推進会議代表者会議

○交歓スポーツ祭

○鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との意見交換会

○全国市議会議長会第91回定期総会

○市青少年育成市民会議

○種子島漁業協同組合第18回通常総会

○種子島宮農大校入校式

○県体熊毛地区大会市役員選手団結団式

第3回議会報告会を開催しました



▲下西校区の様子



▼上西校区の様子

5月7日から26日まで、12校区ごとに2班集体で報告会及び意見交換会を開催しました。3回目となる報告会は、参加者数226人（昨年より増）の約半数が初めての参加であり、61%の参加者から「評価する」とのアンケート結果が出されました。女性の参加者（12%）と20代30代の参加者（3%）が相対的に低いことから、次回改善していきたいと考えています。

参加していただいた皆様からは共通のご意見や要望が多く出されました。テーマ別のまとめと、議員との意見交換の主なものをご紹介します。

議会運営委員長 長野広美

…質問・意見
↓…議会からの回答

開催日	校区名	説明班	参加者数
5月18日（月）	立山校区	1班	22人
	国上校区	2班	30人
5月19日（火）	安納校区	1班	7人
	古田校区	2班	14人
5月20日（水）	上西校区	2班	22人
5月21日（木）	伊関校区	1班	9人
	中割校区	2班	11人
5月22日（金）	現和校区	1班	31人
	安城校区	1班	10人
5月25日（月）	住吉校区	1班	20人
5月26日（火）	下西校区	1班	31人
	榕城校区	2班	19人

観光・商工

◎浦田海水浴場は侵食が進んでいる。砂場対策は予定されているか。駐車場を整備して欲しい。ゆるキャラや、メヒルギ、ヘゴを使った観光グッズ等、浦田海水浴場を盛り上げるための策はないか。（国上）

↓浦田海水浴場の駐車場整備は必要と考えます。

◎プレミアム商品券が売り切れだった。1人当たりの額を制限して

教育

↓プレミアム商品券は6月以降に大字地区で、1世帯3万円を上限に販売予定です。（※報告会時点での回答）

◎児童保育を、個人所有の本堂を開放し今年4月から実施している。国上保育園でも2年前に取り組んだが、補助金は保育以外には使えず、思うように運営が出来なかった。（国上）

↓児童保育について

市民生活

は国が空き教室を利用するよう方針をだしていますので、今後実現する方向です。

◎スクールバスのバス停設置はできないか。降りたい場所で降ろせないか。（上西）

↓乗降場所については他の地域から要望は上がっていますので、議会でも議論します。

◎生産物を早く消費者に届けるために、奄美航路の活用ができないか。（国上）

◎高速船の1社体制は島民にとってはありがた迷惑だった。（安納）

◎新聞によると高速船会社は赤字、新船1隻が二十数億円するともいうが、現状で経営維持できるのか。（下西）

◎年金暮らしの人たちが月に何回も病院に行ったりして、高速船代が大変だ。利用者にアンケートをし、会社を説得したら良いのではないか。（榕城）

↓海上運賃は、離島活性化交付金で4品目を助成しますが、沖縄県は

農業・水産業

もつと出ると思います。種子島からの運賃が高いので、議会は毎年国に要望しています。船の甲板を道路とみなして補助をもらっている長崎県五島のようなところもあるので、国道58号線がある種子島でも航路の恩恵を受けるべきだと考えます。高速船の更新問題は、国が30億円出して合計45億で新船を造る考えもあるようです。1市3町で協議して要請します。

◎市役所の鹿銀窓口で長くかかった。時間外は会計課でも納める事ができるのだから、待っている人が多い時には、対応して欲しい。（国上）

◎市役所から道具を借りたが使い物にならなかった。道具の手入れもしっかりしてほしい。（現和）

◎シカ対策の金網設置などについて周知徹底されていない。担当者は1年で異動せず、勉強するべき。予算枠で打ち切るの必要以上に買う人もいる。全島でシカ対策

をして欲しい。(安城)

◎ 有害鳥獣適正個体処理事業について、詳しく教えて欲しい。埋めるよりも、肉を処理する加工施設を造って欲しい。(古田)

↓ 個体処理事業は、市有林の中で穴を掘削し捕獲した鹿を埋設する事業です。昨年約1,000頭以上捕獲し、処理に困っています。今年度は2,000頭を目標にしています。

◎ 農林水産課の補助事業の説明会に行った。甘藷には補助が多いが野菜には何もない。議員は農家に足を運んで欲しい。(榕城)

◎ サトウキビがよくなかった。生活費がない状況もある。救済措置をお願いしたい。(住吉)

↓ 議員も農家の実情をより把握し、制度の充実に努力をしていきます。

◎ 大崎の港には、船を揚げるところが壊れて無くなっている。また、防波堤に遊びに来てゴミを捨てて行く。(上西)

↓ 大崎漁港は現地調査をして確認します。

健康・福祉

◎ 田上病院の脳外科医が不在となった。自分は緊急手術が出来たので助かったが、2時間遅れていたら麻痺が残っただろうと言われた。(上西)

↓ 脳外科医不在については1市2町の首長と議会で協議会を立ち上げて要請活動を行っており、田上病院、鹿児島大学、1市2町で覚え書きを作り、対応することになりました。軽度の場合は内科を促されるようです。

◎ いきいきデイサービスは、今まで、社協の手伝いをもらっていたが、4月から市がすると言われた。しかし、4月5月は実施されていないようだ。(中割)

◎ AEDと救急箱の設置を要望。スポーツ大会などで持ち運び出来る物を設置して欲しい。(古田)

◎ 病院でジェネリックをやめさせられた。ジェネリックの利用を病院側にも働きかけてほしい。(立山)

施設整備

◎ あっぱーらんのゲートボール場は、雨が降ると水が流れ込んで問題だ。雨樋も落ちている。危険で人命にも関わる状態だ。(安納)

↓ あっぱーらんの現状は使い勝手が悪いと認識しています。今後現地確認します。

◎ テニスコートの改修事業とあるが、順位を決めて予算を組んでいるのか。(下西)

↓ テニスコート改修については議会でも様々な意見が出ましたが、危険箇所もあるので予算を承認しました。優先順位については市長側からは明確な回答は出ていません。

◎ 市民会館は自由に使える部屋が欲しい。開館時間を延長して欲しい。エレベーターは必要か。(榕城)

↓ 市民会館は防災対策と、大ホールの大規模改修をします。照明や椅子もゆとりのある設計です。

◎ 市営グラウンドの、体育祭時に編成場として使われている便所前のスペースを、普段は駐車場

に使ったらいいのではないか。(下西)

ふるさと納税

◎ 平成26年度はいくらだったか。今年からふるさと納税は5箇所までできるようになったので工夫してもらいたい。(住吉)

↓ 昨年の寄付額は約150万円。地元特産品の返礼品を出しています。市民の関心の高さはわかりましたので、今後一層議会でも議論したいと考えます。

地域支援

◎ 古田に限らず大字に市営住宅を建てて欲しい。鴨女町の市営住宅を建替えるという話も聞か、津波を考えたら、大字に造る方がよいのではないか。(古田)

◎ 市営住宅の減免制度で、大字の住居費用を安くして、住みやすくして欲しい。(中割)

◎ 地域おこし協力隊は、若い人でなくても市民の要望に合った知識のあるスペシャリストを採用して欲しい。(古田)

に帰る人は少ない。これまでに以上に校区にも指導してもらいたい。(住吉)

↓ 大字では教員住宅の転用等配慮しているが、役員問題もあるので簡単ではありません。今年は、外部から地域おこし協力隊を募集して5校区に配置する予定。若者定住促進事業は2年半で30世帯が大字地区に定住したと報告されていますので、今後も活用していただきたい。

馬毛島問題

◎ 馬毛島対策特別委員会に全議員が入っている。市民の中にも賛成する人も多い。反対の方へ扇動する印象を受ける。(国上)

◎ 以前議会で「反対」の看板が見苦しいと言う話が出たが、最近「賛成」の看板が目立っている。これについてはどう考えるか。(榕城)

↓ 特別委員会を設置する際に目的に「反対の立場」の議員を入れるかどうかを検討し、多数決で入れる事に決定しました。また、2年前の選挙で市長も議員もそれぞれ

意思を表明して、当選した中で、現在議会は「反対」です。

議会

◎ 報酬総額を増やさず、議員数を増やす方法もあるのでは。(現和)

◎ 議員定数削減の陳情を出した。市の財政面を考えた時に、削減の方が良い。(榕城)

↓ 議員定数については、それぞれ意見もあり、今後も議論していきます。

◎ 報告会で、馬毛島をテーマに報告会をして欲しい。(榕城)

ひとまち総合戦略

◎ 本市は死亡者が多く、出生者が少なく人口は減少している。それにもかかわらず市の予算は増えている。少子高齢化を一步踏み込んで議員の皆さんが提言してほしい。(伊関)

↓ 市の活性化や人口問題は市の大きな課題。長期振興計画を基に長年取り組んでいるが十分ではありません。議会としても報告会の後に引き続き議論したいと考えます。

議員と参加者との意見交換会

① 西保線道路の整備について

◎ 石堂のガソリンスタンドから田の脇までの道路は、5月15日の大雨で7年前崩れた箇所の隣に崖崩れがあった。法面にひびが入っているとあり、びくびくしながら通行している。

↓ 議会もこれまでに現場を見に行き、土質的に崩落しやすいと認識。スクールバスも通行し、人身事故の危険性もあり、早急な改修もしくはバスの路線変更等の対策が必要だ。

② 海岸清掃と生活保護者について

◎ 海岸清掃の時間でも、清掃活動に参加せず釣りをしている市民がいる。どうにかならないか。生活保護者にも海岸清掃を呼びかけたが、参加しないと言われた。保護費を渡す時に行事には参加するように言えないものか。

↓ 清掃については、あくまでもボランティアという位置付けで、生活保護制度は本当に困っている人や、障害を持つ人には必要な制度であり、海岸清掃については、なるべく多くの市民に参加を呼びかけるべきではないかと考えます。

③ 活性化交付金と地域支援について

◎ 活性化交付金をもらうのはありがたいが、限界集落で自治会長のなり手がいない中で請求書の提出、残額の返金等、書類提出が大変だ。地域支援課からの説明が足りない面もあるのではないかと。

↓ 交付金は税金なので予算を立てて議会の承認を得て出しています。決算書、領収書、写真等、最低限の書類は必要と考えます。御意見は委員会等で検討します。

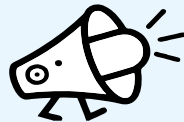
④ 小学校の在り方について

◎ 国は教員を大幅に減少させる方針を示し、教育長も小学校の統合を考えていると表明している。来年は安納小学校の入学生ゼロの見込み。小学校を残すにはどうしたらいいのか。

↓ 立山小学校では児童が転校した後、新入生が見込めないと休校となり、安城小学校も同様の状態になることが見込まれます。統合問題では子どもの教育環境をまず考えるべきだという意見もあります。特認校制度があっても児童数を確保することは容易ではありません。保護者だけの問題ではなく、地元のみならず議論を深めていきたい。

～防災無線で議会日程をお知らせ～

○ 議会の日程と合わせて、一般質問の内容を質問者ごとに一問ずつ放送しています。
放送時間は、本会議の前日午後6時40分と当日午前7時20分です。
是非ご確認ください。



※紙面の都合で、全てのご意見を掲載することはできませんが、市議会ホームページに掲載しております。そちらをご覧ください。

6月議会で決まったことは次の通りです

議 案 名	関連 ページ	議員名（議席番号順）																議決 結果
		木 原 幸 四	鮫 島 市 憲	濱 上 幸 十	小 倉 初 男	下 川 和 博	瀬 下 満 義	小 倉 伸 一	田 添 辰 郎	中 原 勇	川 村 孝 則	榎 元 一 巳	長 野 広 美	橋 口 美 幸	渡 辺 道 大	丸 田 健 次	永 田 章	
報告第1号 専決処分の承認を求めることについて…西之表市税条例等の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認 賛15 否0
報告第2号 専決処分の承認を求めることについて…西之表市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認 賛15 否0
報告第3号 専決処分の承認を求めることについて…西之表市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	承認 賛13 否2
報告第4号 専決処分の承認を求めることについて…平成26年度西之表市一般会計補正予算（第8号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	承認 賛12 否3
報告第5号 専決処分の承認を求めることについて…平成26年度西之表市簡易水道特別会計補正予算（第6号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	承認 賛12 否3
報告第6号 専決処分の承認を求めることについて…平成26年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	承認 賛12 否3
報告第7号 専決処分の承認を求めることについて…平成26年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算（第3号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認 賛14 否1
報告第8号 専決処分の承認を求めることについて…平成26年度西之表市地方卸売市場特別会計補正予算（第3号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認 賛14 否1

議案名	関連 ページ	議員名（議席番号順）																議決 結果
		木 原 幸 四	鮫 島 市 憲	濱 上 幸 十	小 倉 初 男	下 川 和 博	瀬 下 満 義	小 倉 伸 一	田 添 辰 郎	中 原 勇	川 村 孝 則	榎 元 一 已	長 野 広 美	橋 口 美 幸	渡 辺 道 大	丸 田 健 次	永 田 章	
報告第 9 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 26 年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第 6 号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	承認 賛 12 否 3
報告第 10 号 専決処分の承認を求めることについて…平成 26 年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 6 号）	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	承認 賛 12 否 3
報告第 11 号 平成 26 年度西之表市一般会計継続費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第 12 号 平成 26 年度西之表市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第 13 号 平成 26 年度西之表市簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第 14 号 平成 26 年度西之表市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
議案第 48 号 西之表市公平委員会委員の選任について	2	無記名投票（有効 15）																同意 賛 15 否 0
議案第 49 号 西之表市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 15 否 0
議案第 50 号 西之表市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	原案可決 賛 13 否 2
議案第 51 号 西之表市道路線の認定について	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 15 否 0
議案第 52 号 平成 27 年度西之表市一般会計補正予算（第 1 号）	3～4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 53 号 平成 27 年度西之表市簡易水道特別会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 54 号 平成 27 年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	原案可決 賛 12 否 3
議案第 55 号 平成 27 年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 56 号 平成 27 年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 57 号 平成 27 年度西之表市水道事業会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 58 号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、2016 年度政府予算に係る意見書の提出について	4	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 13 否 2
議案第 59 号 西之表市会議規則の一部を改正する規則の提出について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 15 否 0
議案第 60 号 西之表市議会基本条例の一部を改正する条例の提出について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 15 否 0
請願第 32 号 「川内原発再稼働に反対する意見書」の鹿児島県知事への提出を求める請願書	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	—	継続審査 賛 11 否 4
請願第 40 号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願書	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	継続審査 賛 15 否 0
請願第 41 号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、2016 年度政府予算に係る意見書採択の請願について	3	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択 賛 13 否 2
請願第 42 号 種子島、屋久島を「活動火山周辺地域防災営農対策事業」の対象地域に組み入れることを求める請願書	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	継続審査 賛 12 否 3

※請願第 32 号、40 号、42 号については、委員長報告（継続審査）に対する賛否を記載しています。

※永田章議員は、議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。○は賛成、×は反対。

西之表市議会のホームページでは、次のような情報を掲載しています。ご覧ください。

- 議会の仕組み
- 議員名簿
- 議会行事記録
(どんな会議に出席したか)
- 議会の日程
(いつ議会があるのか、あったのか)
- 一般質問通告書
(誰がどんな質問をするのか、したのか)
- 本会議議事録
- 議会だよりバックナンバー など

URLは・・・

<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/gikai/gikaitop.html>

または「西之表市議会」で検索してください。

次回 平成27年第3回定例会 会期日程予定

- 9月1日 開会、本会議
- 2日 請願・陳情最終受理期限
(正午まで)
- 2・3・4日 本会議(一般質問)
- 8・9日 総務文教委員会
- 10・11日 産業厚生委員会
- 14日 各常任委員会
- 16日 各特別委員会、
議会運営委員会
- 18日 最終本会議(議案等審議、表決、閉会)

※都合により変更になる場合があります。

議会を傍聴してみませんか？

市議会の定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催され、次回は9月1日開会の予定です。

傍聴者受付簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴できますので、どうぞお越しください。

※総合窓口に向かって右側のエレベーター(若しくは総合窓口左の「西之表市議会」看板のある階段)で3階傍聴席へお越しください。



6月17日に開催された第91回全国市議会議長会定期総会において、永田章議員が正副議長4年以上、また、木原幸四議員、瀬下満義議員、橋口美幸議員が議員10年の永年勤続表彰を受け、最終本会議終了後、表彰状と表彰記念賞がそれぞれ正副議長より伝達されました。



▲永田章 議員



▲左から瀬下満義 議員、
橋口美幸 議員、木原幸四 議員

編集後記

平成27年第2回定例会最終本会議を7月1日に終えることができました。

議会中は梅雨時期でもあり足元の悪い中、傍聴に足をお運びいただきありがとうございました。

また、議会報告会、懇談会に出席して議論を深め、盛り上げてくださった皆さまに重ねて御礼申し上げます。

さて、梅雨の時期はさらに豪雨続きで、明けてからは日照りが続き、水稲、サトウキビ、安納芋、野菜等、農作物への被害を憂慮しております。

種子島の夏本番、鉄砲まつりも終え、観光客増加を願う商店街の取り組みなどから、にぎわいが感じられました。

編集委員会の前号より新委員2名、田添辰郎議員、川村孝則議員が加入し、再スタートしております。

今後とも議会だよりが市民の皆様へ愛され続けるよう紙面づくりに努めてまいります。ご愛読いただき、よろしければご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

(幸四)



発行／西之表市議会 編集／議会報編集委員会 発行責任者：西之表市議会 議長 永田 章
〒891-3193 鹿児島県西之表市西之表 7612 番地
TEL 0997-22-1111(内線 351) FAX 0997-22-0295 E-mail: gikai@city.nishinoomote.lg.jp